

いじめ発見 「学校でのチェックポイント」

【登下校時】

- 一人だけ置いて行かれるなど仲間はずれにされている様子が見られる。
- 教職員と視線を合わさないようになる。
- 元気がなく浮かない顔をする。挨拶をしなくなる。

【朝の学級活動】

- 衣服が汚れていたり、身体にあざや傷が見られたりする。
- 理由なく遅刻してくる。
- 子どもの様子がいつもと違っている。(泣いている、突っ伏している、沈んでいるなど)

【授業中】

- 授業での発言を冷やかされたり、無視されたりする。
- 教室に入れず、保健室などで過ごす時間が増える。体調不良で頻繁に保健室に行く。
- 学習意欲が低下したり、忘れ物が増えたりしている。
- 不自然に机の距離が離れている。
- グループ決めるとき、なかなか所属が決まらない。
- 持ち物がよくなる。教科書、ノート等に落書きが目立つ。
- 特定の生徒の発言に対し、目配せしたりにやにやしたりする。
- 特定の生徒の持ち物に触れることを嫌がる。

【休憩時間・昼食時】

- 一人で過ごしていることが増える。
- 遊び仲間や所属グループが変わる。
- 不快なあだ名で呼ばれている。
- 特に用事がないのに職員室や保健室に通っている。
- 友だちとふざけあっているが表情が暗い。または、作り笑いをしている。
- 給食当番の際に、いつも重たい物を運ばされている。
- 配膳を嫌がられる。
- おかずやデザートを友だちに渡している。
- 給食に手を付けず、ぼーっとしている。

【帰りの学級活動、清掃時、放課後】

- そうじの時に特定の生徒の机を運びたがらない。机が放置されている。
- 一人で清掃や片付けをしていることが多い。
- いつも大変な仕事（ゴミ捨て、雑巾掛け、思い物を運ぶ等）をやらされている。
- 靴や傘等が隠されたり、いたずらされたりする。
- 理由なく急いで下校したり、なかなか帰らなったりする。
- 教職員の目の届く範囲から離れようとしめない。
- 特定の人がからかわれたり、責められたりしている。
- 部活動に行かずに教室に残っていたり、部活動を休みがちになったりする。
- 部活動中、または部活動終了後、部員の雰囲気がおかしい。

いじめは遊びやふざけ合いを装って行われることがあります。また、暴力をふるう児童生徒のグループ内で行われるいじめは、被害者からの訴えが出にくく見逃しやすくなります。学級でのいじめ発見には、日常の観察が最も効果的で、実践的だと言われています。各学級・学年、そして全職員で日常の生徒一人一人の観察を大切にしていきます。

参考：いじめ防止『学校・家庭・地域連携シート』（仙台市教育委員会 発行）

令和5年度全面改定